

小さな目標の積み重ね ～次の目標は何ですか？～

6月に入り、四国地方も梅雨入り発表です。新型コロナウイルス感染症の影響で、2020東京オリンピックの延期、インターハイや夏の甲子園大会の中止、全国中学校大会や全日本吹奏楽コンクールの中止など、スポーツの大会やコンクールが今年行われなという報道が続きました。そして先日、今治・越智中学総体の中止が発表されました。この大会を目標にがんばってきた皆さんには、たいへん辛い決定になりました。残念としか言いようがありませんが、これですべてが終わってしまったわけではなく、私たちは立ち止まらず次の新たな目標に向かっていかなければなりません。

しかし、ただ目標を立てればいいというものではありません。漠然と〇〇したいと思っているだけでは、決して前には進まないものです。例えば学習面なら、□□高校に入りたいと考えているだけでは成績は伸びませんね。大きな目標が高校への合格ならば、入試までにどれくらい時間があるのか。具体的にあと何点くらいアップさせたいのか、そのためには今何をどうするべきなのか。例えば「英語のテストをあと20点伸ばしたい。今月中に現在進行形の文法をマスターする。」といったように細かな目標を立てて実行すると、一歩ずつ確実に結果を残せるし、そのことが次へのエネルギーになるはずで。部活動や習い事も同様です。「秋の◎◎大会ではベスト8に入りたい。そのために今月は××サーブの成功率を80%にする。」といった具合でしょうか。



「1000勝、おめでとうございます。次の目標は？」

「1001勝！」

これは、大相撲で昭和の名横綱として活躍し、優勝回数歴代3位、通算勝ち星歴代3位などの記録を打ち立て、大相撲界初の国民栄誉賞にも輝いた第58代横綱、千代の富士関が通算1000勝を達成したときのインタビューとその答えです。大記録を打ち立てたにもかかわらず、次の目標を1つ勝ち星を積み重ねることにおいていることが注目されます。その後引退までに1045勝まで記録を伸ばしました。

「次の目標は、次のヒットです。」

こちらは、ある野球選手が記録達成時にインタビューされたときのコメントです。発言の主は誰でしょうか？

プロ野球界では、打者としては通算2000本安打（ヒット）を打てれば名選手といわれます。これは日本とアメリカで通算4256安打など数々の記録を残したイチロー選手が2000本安打を記録したときのコメントです。

スポーツ界のスーパースターも、それぞれ一歩先の小刻みな目標をもち、それを達成していったからこそ、大きな目標に到達できたのでしょう。目標達成の秘訣は、まさに小さなことの積み重ねなのです。今、皆さんが考えているのはどんな目標でしょうか？

